

会報

2013-14 井田 Vol. 21
2013 / 12 / 12



つくば学園ロータリークラブ

TSUKUBA GAKUEN ROTARY CLUB DISTRICT 2820 R.I.

It is the 28th year since 1986

12月12日（木）例会報告

Index

会長点鐘・幹事報告／招待卓話:日本経済・茨城県経済の現状と展望／ニコニコBOX／その他

会長点鐘・幹事報告



井田 充夫 会長

本日は鯨井幹事が欠席の為、幹事報告を代行いたします。他クラブから例会変更他のお知らせが届いておりますので、詳しい内容は事務局へ、お問い合わせください。

招待卓話：筑波総研(株) 調査部長 渋谷 康一郎 様



渋谷康一郎様の経歴紹介

筑波銀行のシンクタンクである筑波総研株式会社に在籍されています。昭和34年生まれの54歳です。慶應義塾大学を卒業後、日本銀行に入行されました。高知支店長、京都支店長という華やかな経歴の持ち主です。平成24年7月に検査室検査役、今年度の4月に筑波総研株式会社へ入社されました。現在調査部長兼、チーフエコノミストとして活躍されています。渋谷さんは以前ロータリアンとして活躍された経歴をお持ちです。本日は「日本経済・茨城経済の現状と展望そしてアベノミクスをどう考えるか」をテーマに講演をしていただきます。

筑波総研株 調査部長 渋谷 康一郎 様

こんにちは、只今ご紹介いただきました筑波総研株式会社の渋谷です。本日はこのような機会をいただいたことを光栄に思います。ロータリーソングを聴くのは本当に久しぶりです。私は京都ロータリークラブでソングリーダーを担当していたことがあり懐かしく思えます。今日の講演は2部構成で進めさせていただきます。前半は、日本の経済のポイントを説明します。そして、後半はアベノミクスの成長戦略について押さえるべきポイントをお話したいと思います。



12月10日に農林水産業の重要な改革プランが発表になりました。また、今日も13年度補正予算案が発表等々、ここ最近では日本にとって重要なイベントが続いています。今日この後、資料を調べなくてはなりません。

【わが国経済の現状】<日本銀行「金融経済月報」11月22日公表>

➢ 景気は緩やかに回復している(→)

- ・海外経済:一部に緩やかな動きもみられているが、全体として緩やかに持ち直している(↑)
- ・輸出:持ち直し傾向にある(→)
- ・設備投資:企業収益が改善する(→)なかで、持ち直している(→)
- ・公共投資:増加を続けている(→)
- ・住宅投資:増加している(→)
- ・個人消費:雇用・所得環境に改善の動きがみられる(→)なかで、引き続き底堅く推移している(→)
- ・鉱工業生産:緩やかに増加している(→)
- ・消費者物価:前年比は、0%後半半となっている(→)
- ・予想物価上昇率:全体として上昇している(→)

【先行き】

- 景気は緩やかな回復を続けていく(→)
- 消費者物価の前年比は、プラス幅を次第に拡大していく(→)

【リスク要因】

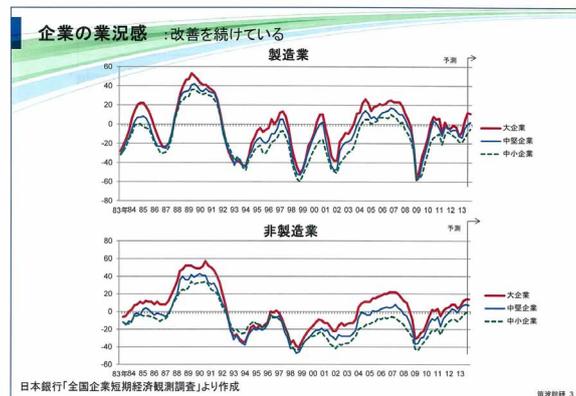
- 不確実性は引き続き大きい
- 欧州債務問題の今後の展開、新興国・資源国経済の動向、米国経済の回復ペース

筑波総研 1



日本銀行の毎月の発表によると、「我が日本の景気は緩やかに回復している」という評価です。日本経済は今年4月の予想に対して外需は想定以下で内需は想定よりも良かったという結果でした。その一方で、建設・サービス等の非製造業は想定よりも少し良く、製造業は以前より持ち直してきてはいるが回復のペースは弱いという評価からみて、日本経済はほぼ想定されたペースで回復しているというのが大方の見解です。また、日本銀行が強気である理由が2つあります。1つは、製造業の設備投資がようやく動き出したこと、2つ目は、消費が堅調なことです。なぜ消費が強いかについては、これまでは円安株高に支えられた消費者の期待でした。しかし雇用や所得環境が改善されてきたことで、全体としていい方向に推移しはじめました。その一方

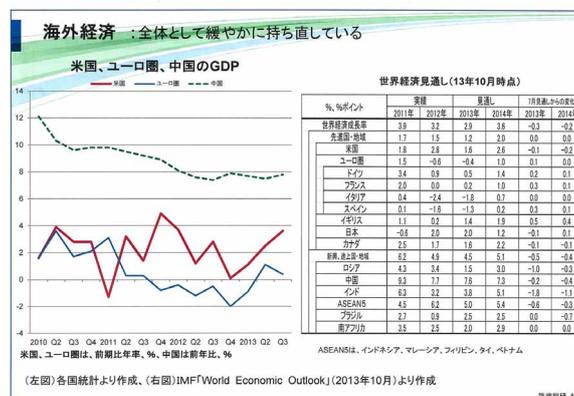
で、不安な点は海外の情勢です。特に懸念されるのはASEANやロシア、中東への輸出状況が良くないことです。政府の判断は回復しつつあるという評価ですが、この中でも輸出は弱含みという評価です。さらに気がかりは、輸出が思わしくないために外需が奮わないことです。12月9日に発表されたGDPの速報によると、年率1.1パーセントという成長率でした。前回の数値は1.9パーセントだったので0.8%下がりました。今回の景気回復は、非常に珍しいことですが消費から始まっています。過去の日本景気の回復パターンは、外需が主導でした。要するに輸出が良くなり、輸出企業の収益が上がり、それが内需に跳ね返ってくることで、景気が上がりました。今回はそうではなく消費から始まり、その後外需が好転し、ようやく企業設備がプラスに転じている。このような状況です。なぜ、消費から景気が良くなっているのか、それは、アベノミクスの経済政策「第1の矢」、「第2の矢」、が順調であったことです。「第1の矢」で、金融政策「異次元の金融緩和」を行い、株を上げて消費者マインドを盛り上げることに成功し、「第2の矢」で公共工事の勢いをつけ、そして現在は「第3の矢」の成長戦略により日本経済を本格的に盛り上げていけるかという状況です。



日本銀行が発行している短観の結果です。企業の景況感を表したグラフです。これを見ると、あることに気づくと思います。非製造業のほうが製造業よりも先に上がってきています。この資料からも、今回の景気回復は非製造業から始まり、製造業がようやく追いついてきたことが見て取れます。また、業態の大きいところほど景況感が良く、中小企業の景況感は、ゆっくりと良くなってきはしているが大企業と比べると低いです。この状況は製造業や非製造業でも確認できます。円安により輸入物価が上がり、企業の調達コストが上がっています。これが販売価格に添加できるか否かが、収益を大きく左右します。

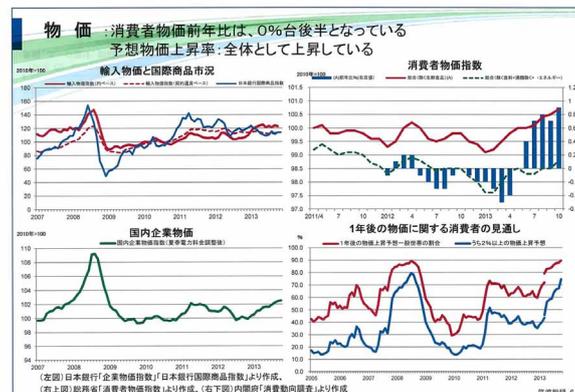


輸出入のグラフです。貿易赤字がかなり続いています。輸入が伸びている理由は、東日本大震災の影響で日本の原発稼働がほぼゼロのためです。電力不足を補うために火力発電に頼っています。よって、原料である原油と天然ガスの輸入が増えています。また、円安になると輸入の価格が上がり輸入の金額そのものが上昇します。更に国内の景気が良くなっているので原材料や燃料の輸入が増えています。よって、輸出が回復しない限り貿易赤字が続くこととなります。また貿易赤字が続けば円安に振れるというのが一般的な見解です。もう一つ、異次元の金融緩和政策が円安を導きだしています。為替は通貨の交換の値段なので、その通貨が沢山マーケットに出てくれば通貨の価値が下がります。アメリカが行う以上にマーケットに大量の円を供給するだろうとマーケットが判断すれば、円の価値は下がります。円の価値が下がると為替は安くなります。よって、日本は貿易収支が赤字基調になり、またこの状況がしばらく続くだろう、ということと、日本銀行が大量の金融緩和をしばらく継続するというのがマーケットの見方です。これが円安を維持している理由です。



海外経済についてです。アメリカとヨーロッパそして中国のGDPです。アメリカは右上がりです。経済がしっかりしてきています。財政の崖といわれる財政問題を抱えているにも関わらず、良い状況で推移しています。ヨーロッパもようやくプラスに転じたかに見えます。ヨーロッパは、以前日本に起こったバブル崩壊と同じことが起こっていて、ずっと下がっていましたが、ようやく下げ止まり、少しずつ経済が好転し始めたといえるのではないのでしょうか。中国も、少し前のGDP10%以上の成長というのは無くなり、ずっと下がり続けていたのですが、ようやく下げ止まったように見えます。輸出もヨーロッパに続くように、少しずつ動き出しました。欧米の先進国、及び中国は、日本にとって悪い材料はありません。一方で、途上国の来年度の見通しは、下方修正されて悪くなっています。ロシアやインド、ASEAN、ブラジルに代表される新興国・資源国の経済が悪くなっています。これは貿易赤字や為替、インフレに悩まされている結果、金融面で引き締めをやらざるをえない国々が出てきて、それ故に経済成長がうまく行かない、よって日本の経済成長に少なからず影響しているといえます。

物価の推移です。国内の企業物価です。企業にとっての物価は上がり続けています。消費者物価指数は0.9%で上がり始めています。ようやく企業にとって販売価格の転嫁が起こり始めています。今後、中小企業にも波及してくるかどうかポイントです。デフレ脱却の本番です。



茨城県経済の現況ですが景気はおおむね横ばいです。企業の生産活動設備投資が全国平均と比べると悪い状況です。特に生産に至っては弱めの動きが出ています。

茨城県経済の現況 <筑波総研(株) 12月>

- 景気は概ね横ばいであるが、一部で持ち直しの動きがみられる(→)
- 先行きは緩やかに持ち直す(→)
 - 企業・消費者の景況感:横ばい圏内である(→)
 - 企業の生産活動:足もと弱めの動きがみられる(↓)
- 設備投資:前年度に比べ慎重な計画となっている(→)
- 公共投資:増加している(→)
- 個人消費:概ね横ばいであるが、一部で持ち直しの動きがみられる(→)
- 住宅投資:緩やかな増加傾向にある(→)
- 雇用・所得情勢:緩やかに持ち直しつつある(→)

筑波総研 7

茨城県の経済構造

製造品出荷額(平成23年)

茨城県 構成比% ■ 事務所数 ■ 従業者数

全国 構成比% ■ 事務所数 ■ 従業者数

製造品出荷額(平成23年)

茨城県: 12.9, 10.2, 3.9, 15.5, 7.2, 2.5, 4.3, 23.9, 3.4, 2.2

全国: 1.5, 1.5, 1.5, 1.5, 1.5, 22.0, 1.5, 1.5, 17.8

筑波総研 8

茨城県の従業者ベースで見ると製造業のウエイトが非常に高く、一方で第三次産業の従業者数の構成比は低いという特徴があります。今回の景気は非製造業の消費からスタートしています。必然的に茨城県の景況感依然厳しい状況です。さらに茨城県の産業構成を見ると、自動車産業の割合が全国平均に比べ圧倒的に低いことがわかります。製造業がようやく立ち上がってきていますが、その先頭を切っているのは自動車産業です。このウエイトが低い茨城県はやはり厳しいといえます。

日本経済の現状に関する基本認識—骨太の方針、成長戦略(6/14日)

(停滞の20年)

- 90年初頭の「バブルの崩壊」⇒3つの過剰(設備、雇用、借金)の解消が最優先の課題
- 最新設備の導入、研究開発、人材育成、新規事業・起業への意欲萎縮
- 少子高齢化、新興国の台頭、経済のグローバル化、IT等技術革新等構造的変化への対応の遅れ
- 約20年に亘る低成長(実質GDP成長率:93~12年度年平均:+0.8%)とデフレ
- 大震災・原発事故を受け、被災地の復興、国土や生産基盤の脆弱性・エネルギー制約への対応

実質GDP 前年度比%

消費者物価指数 前年度比%

筑波総研 9

経済財政運営と改革の基本方針~脱デフレ・経済再生~(6/14日閣議決定)

(再生の10年)

今後10年間(2013~2022年度)の平均で、名目GDP成長率3%程度、実質GDP成長率2%程度を実現

- アベノミクス「三本の矢」を一体的に推進
 - 企業業績改善⇒投資の拡大⇒雇用と所得の増加⇒消費の拡大⇒企業業績改善
 - マクロ経済環境の好転⇒企業等の決断の促進⇒成長戦略の推進⇒経済の更なる好転
- ① 大胆な金融政策(第1の矢:デフレマインドの二掃)
 - デフレ脱却と持続的な経済成長の実現のための政府・日本銀行の政策連携について(1/22日共同声明)
 - 日本銀行「量的・質的金融緩和」の導入(4/4日)
- ② 機動的な財政政策(第2の矢:湿った経済を発火)
 - 12年度補正予算13.1兆円(リーマンショック後を除き過去最大)
 - 13年度政府予算案9.2兆円(5/15日成立、当初予算過去最大)
- ③ 民間投資を喚起する成長戦略(第3の矢:企業や国民の自信を回復し、「期待」を「行動」に変える)
 - 「日本再興戦略-JAPAN is BACK-」として、6/14日閣議決定

経済再生と財政健全化の両立

⇒経済再生⇒財政健全化の促進⇒経済再生の一段の進展

- 「中期財政計画」を早期に策定
- (「当面の財政健全化に向けた取組等について-中期財政計画-」を、8/8日閣議了解)
- 国・地方のプライマリーバランスを15年度までに10年度比対GDP比赤字の半減、20年度までに黒字化

筑波総研 10

最後にアベノミクスについてまとめます。ポイントは「3本の矢」という経済政策を一体的に進めることです。最初に金融政策が機能を発揮してデフレマインドを一掃し、財政政策が追いつけるかたちで火をつけて、いよいよこれから成長戦略を行い、そして成長が本物になるという構想です。

GDPについて

日本経済は消費がGDPの60%を占め、設備投資の13%と合わせてGDPの4分の3を形成しています。経済を成長させるためには消費と設備を伸ばさなければなりません。企業が国内で設備投資をするかどうかの判断は、国内の経済が設備投資をして商品を製造した時に売れるかどうかにあります。売れる目処が立たなければ設備投資に踏み切れません。日本経済が先行き成長するぞという期待が、世の中に形成できなくてはなりません。所得が将来どうなるか、年金や医療費等の制度が確立されているかどうかで消費者が貯蓄するか消費するかが決まります。日本経済の先行きが大丈夫だという雰囲気盛り上がらないと、消費者は消費を増やしません。よって、先行きの日本経済への期待が成長戦略の持つ意味であるといえます。

日本銀行の「量的・質的金融緩和」の導入(4/4日)

①強く明確なコミットメント

- 2%の物価安定目標を、2年程度の期間で実現

②量・質ともに次元の違う金融緩和

- マネタリーベース【日銀が供給するお金の総量】: 2年間で2倍に...「量」
⇒ 年間約60~70兆円の増加
- 長期国債保有残高: 2年間で2倍以上に...「質」
⇒ 年約50兆円の増加
- 長期国債買入れの平均残存期間: 2倍以上に...「質」
⇒ 7年程度へ(現状3年弱)
- ETF【指数連動型上場投資信託】保有残高: 2年間で2倍以上に...「質」
⇒ 年間約1兆円増加

気鋭誌 11



成長戦略の基本的考え方と成長への道筋

(成長戦略の役割)

- 長期的に安定した成長を実現していくために、
 - 内外の潜在需要を顕在化させつつ、民間投資を喚起し、
 - 労働生産性を高め、わが国の潜在成長率を強化する、
 - 国民の購買力を高めるとともに、地域を再生する

(キーワード)

- 困難な課題に挑戦する気持ちを奮い立たせ(チャレンジ)、国の内外を問わず(オープン)、新たな成長分野を切り開いていく(イノベーション)ことで、激進でいたヒト・モノ・カネを一気に動かしていく(アクション)

(成長への道筋)

- 民間の力を最大限引き出す(新陳代謝、規制・制度改革、官業開放)
- 全員参加・世界で勝てる人材を育てる(女性・若者・高齢者を活かす、世界で活躍する人材育成)
- 新たなフロンティアを作り出す(「技術立国・知財立国日本」の再興、メイド・バイ・ジャパン)

(3つのアクションプラン)

- 日本産業再興プラン — 産業基盤の強化、ヒト・モノ・カネの活性化
- 戦略市場創造プラン — 課題をバネに新たな市場を創造、日本に強みの4つのテーマ
- 国際展開戦略 — 拡大する国際市場を獲得、ヒト・モノ・カネが自由に行き来できる環境を整備

気鋭誌 14

アベノミクスの成長戦略のポイントは3つあります。

①将来にわたって働き手を十分に確保すること。

景気回復が本格化してくると生産者をいかに確保するかが重要になってきます。女性と高齢者、そして若者に対して、いかに活力を与えるかがポイントになってきます。

②働き手一人当たりの生産性をいかに高めるか。

人・物・金の資源を稼げる分野に投入すれば、生産性は上がります。だからアベノミクスは規制改革であり制度改革です。要するに今ある資源をより儲かる資源にウエイトを移していく、そのためには規制を壊し制度を新たに構築し直すことが重要です。既得権益で儲ける人が沢山いるので、その人達からの反発は大変なものです。それを打破するために国家戦略特区を使い、これから実験を展開しようとしています。東京がこの特区になることははっきりとしていて、東京が特区で規制緩和制度の発祥の地になるということは、これまで、一極集中であった東京から輪を拡げていくかたちで発展してきた茨城県にとっては、もう一回東京に集中されてしまうリスクがあり、怖い制度です。それに負けないように茨城でどうやって戦っていくか、というのが大事なポイントになります。

③新たなマーケットを掘り起こす。

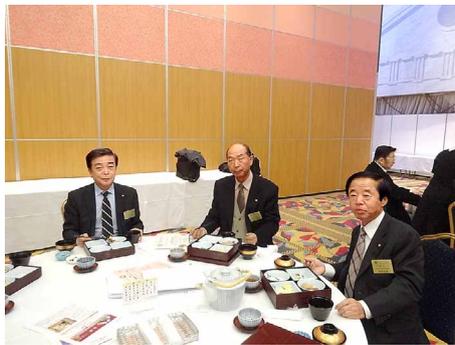
国際戦略です。海外でトップセールスを行い、ジャパンパッケージで売っていくことです。もう一つはこれまでに無かった新たな技術、商品を開発研究し新しく稼げる場所を探していく。戦略市場創造という、アクションプランの重要な部分を占めています。

マスコミ等でアベノミクスの目的は何か等々いわれていますが、この3点を踏まえれば、いいかと思います。本日はお招きいただきどうもありがとうございました。





12月12日
会場スナップ



フィリピンでの奉仕活動に対し感謝状を頂きました



国際奉仕委員会:北島睦男委員長

先日行いましたフィリピンでの医療奉仕活動に対し、感謝状が届きましたのでご披露、ご報告いたします。

12月12日(木) ニコニコBOX



本日は2名のニコニコでした。
御協力いただきありがとうございました。

中野 勝 SAA委員長

本日の合計	¥6,000-
-------	---------

本年度累計	¥608,235-
-------	-----------

中山 正巳

無届出席しました。

お昼が不足かな?と思いましたが、「急な欠席者が居るので問題ありません」に一安心(^_^)

矢島 定雄

先月の社会奉仕活動へのご協力有難うございました。お陰様で、計画通りに実行できました。

12月12日(木) 出席報告



本日の御客様

- ・ 筑波総研(株) チーフエコノミスト 渋谷康一郎 様
- ・ 米山奨学生 ファムターンソン 様

無断欠勤ゼロ、出席率向上を目指して

会員数	出席数	欠席数	内無断欠席数	出席免除	メイクゲスト	出席率
68名	48名	20名	2名	2名	2名	75.75%*

* 出席率は暫定値

中野 勝 SAA委員長



プログラム予告 ・ 12月 ・ 地区関係 ・ ローターアクト

12月 19日	例会 招待卓話 (財)いばらき腎バンク講師	12:30～
12月 24日	移動例会 「クリスマスパーティー」 タイムスケジュールは後日 12月26日より振替	19:00～
12月 26日	休会 12月24日へ振替のため	
1月 2日	休会 定款細則第6条第1節	
1月 9日	理事会 理事、P委員長 親睦委員長	11:00～
1月 9日	例会 会長年頭挨拶 年男の挨拶(大木会員・下村会員・細田会員) 会員・奥様誕生、結婚祝 12月ニコニコ大賞	12:30～
1月 16日	移動例会 「新年会」 筑波山江戸屋 ◎スケジュールは後日	19:00～
1月 18日	移動例会 「I.M」 「I.M」インターシティーミーティング・場 所 ベルアージュ ・タイムスケジュール 受付 14:00～ 開会 14:30～ 懇親会 15:30～ *集合時間は後日お知らせいたします。	14:30～
1月 18日	I.Mへ振替の為	
1月 23日	休会 1月31日(金)へ振替の為	
1月 30日	休会	
1月 31日	移動例会「米山奨学生との交流会」 場所 筑波大学 大学会館レストランプラザ 第2820地区米山奨学生及び学友会メンバー、地区米山記念奨学委員、筑波大学関係者、つくば市3クラブRC会員	18:30～

つくばオールロータリアンFacebook同好会は、つくばの3クラブのロータリアンとローターアクト、インターアクトの情報などをFacebook上で共有しています。皆様、ぜひご活用ください。
(つくば学園・つくばシティ・つくばサンライズ・ローターアクト)



4つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか



編集後記 クラブ会報・広報委員長：篠崎忠志

先日我が社のレクレーションで「ソーセージ作り」を体験してきました。予め用意された肉に、好みのスパイス等を人力でブレンド(捏ねる)して、羊腸に専用の注入器で押し込みます。捏ねる・注入する作業が結構、腕力を使いました。1m位になった腸詰ソーセージを程よい長さに縛り、さくらチップで燻して完成です。体験された方もおられると思いますが、時間を忘れて夢中になれたひと時でした。



友好クラブ

京都山城ロータリークラブ (第2650地区)

つくば学園ロータリークラブ

〒305-0047 茨城県つくば市千現2丁目1番6

つくば研究支援センターA28

電話 029-858-0100 FAX 029-858-0101

Email : gakuenrc@46gama.com

例会日 木曜日 12:30～13:30
例会場 「オークラフロンティアホテルつくば」
つくば市吾妻1丁目1364-1

ホームページもご覧下さい
<http://www.46gama.com/>